

アジア政経学会

平成 16 年度（2004 年度）事業概要報告書

（1）平成 16 年度理事会の開催

理事会の開催 第 1 回 5 月 29 日、第 2 回 10 月 30 日に開催した。

常務理事会の開催 第 1 回 4 月 10 日、第 2 回 7 月 3 日、第 3 回 9 月 11 日、第 4 回 1 月 22 日にそれぞれ開催した。

（2）大会、研究会の開催

東日本大会（5 月 29 日 主催校は城西国際大学）

* 分科会 4 つ（報告者計 7 名）

* 共通論題 1 「東アジアの中の日中関係 協調と対立の構造」

* 共通論題 2 「ジェンダーの視点からみたアジア女性の労働と移動」

西日本大会（6 月 26 日 主催校は南山大学）

* 分科会 5 つ（報告者計 15 名）「ASEAN の企業と文化」「米の対アジア政策」「中国経済」「中国社会」「シンガポール研究の現在」

全国大会（10 月 30 日、31 日 主催校は東北大学）

* 自由論題 9 分科会（報告者計 29 名）

* 共通論題 1 「東アジア共同体の可能性」

* 共通論題 2 「東南アジアの都市化と居住コミュニティの変容 - インドネシアの事例」

* 分科会 1 「東アジアにおける選挙政治」「Innovative East Asia と情報革命」

* 分科会 2 「中国共産党の現段階」「アジア農業問題の 50 年と WTO」

* 分科会 3 「アジアの森林問題」

* 分科会 4 “After The Crisis”

* 分科会 5 「現代アジアの構造変容と新しい文化的不平等」

* 分科会 6 「アジアの開発と環境問題 - 国際協力の視野から - 」

* 第 2 回アジア政経学会優秀論文賞を倉田徹会員に授与した。

なお、各大会の内容は学会ニュースレターで詳しく紹介されており、学会ホームページ（<http://www.jaas.or.jp>）に掲載されている。

（3）『アジア研究』刊行

* 『アジア研究』第 50 巻第 2 号 平成 16 年 4 月刊行。

* 『アジア研究』第 50 巻第 3 号 平成 16 年 7 月刊行。

* 『アジア研究』第50巻第4号 平成16年10月刊行。

* 『アジア研究』第51巻第1号 平成17年1月刊行。

(4) 国際交流の推進

* 従来の韓国北東アジア経済学会、オーストラリアを拠点とする「Asian Studies in Asian Networks (ASIAN)」との連携を強めた。

* 全国大会で英語による分科会“After the Crisis”を開催し、タイ、フィリピンから報告者を招聘した。

(5) ニュースレターとホームページの充実

* ニュースレターの充実に努め、研究大会報告の内容をいっそう豊富にした。

* 研究大会の自由論題の論文提出が義務つけられたのに伴い、すべての論文を学会のホームページに事前掲載した。また大会終了後も論文要旨はホームページで閲覧可能になっている。

(6) 会員動向調査

* 科研費に採択された「アジア研究者データベース作成委員会」(代表者：末廣昭理事長)の作成に協力した。

(7) 事務体制の合理化

* 総務担当と財務担当の業務を外部のNPO法人に委託するほか、寄附行為の改正など業務全体の見直しと合理化を進めた。

(8) 会員数

* 2005年3月末現在、会員数は1320名である。所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

以上。